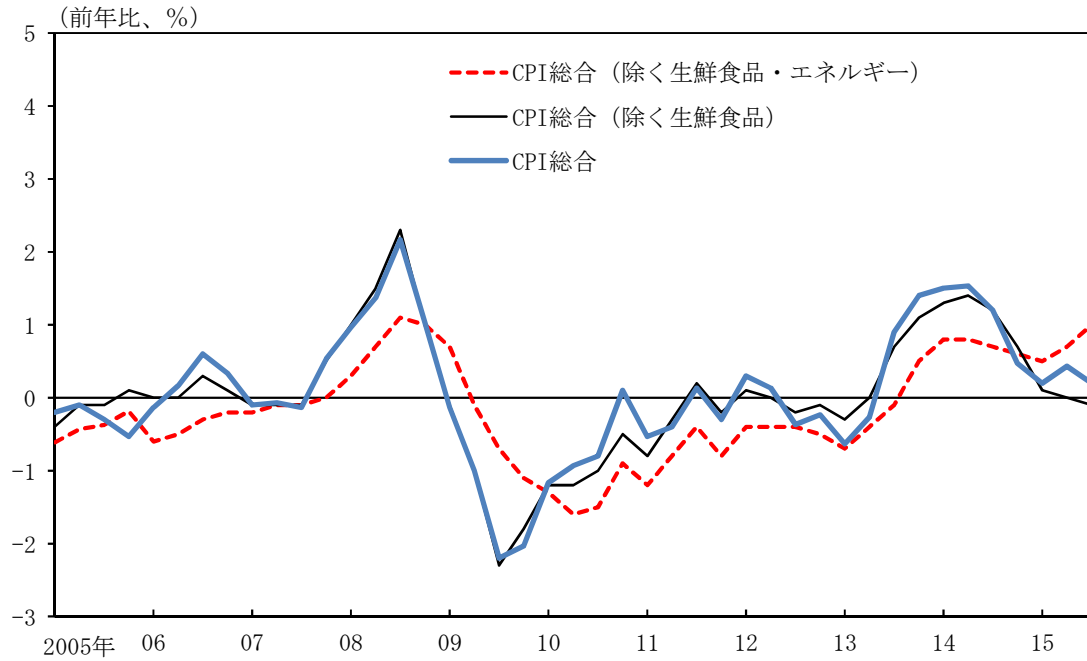


(図表 1)

日本と米国：物価の動向

(1) 日本



(2) 米国



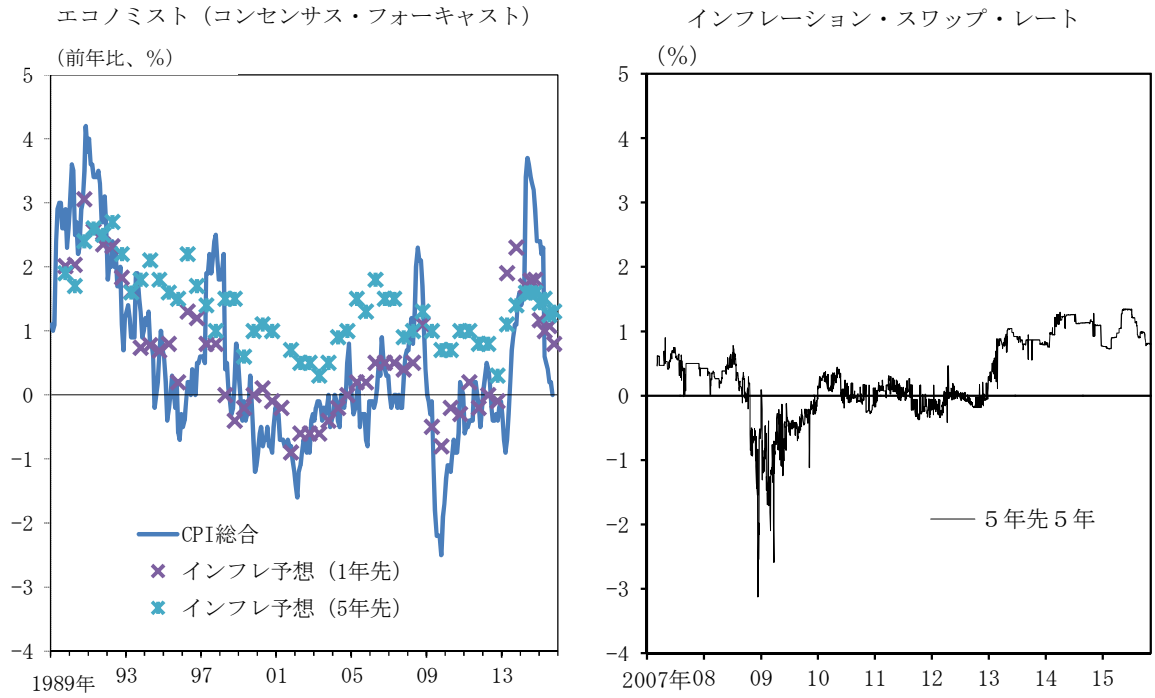
(注) 日本については2014年4月以降は消費税率引き上げによる直接的な影響を除く試算値。

(出所) 総務省、日本銀行、米 BEA

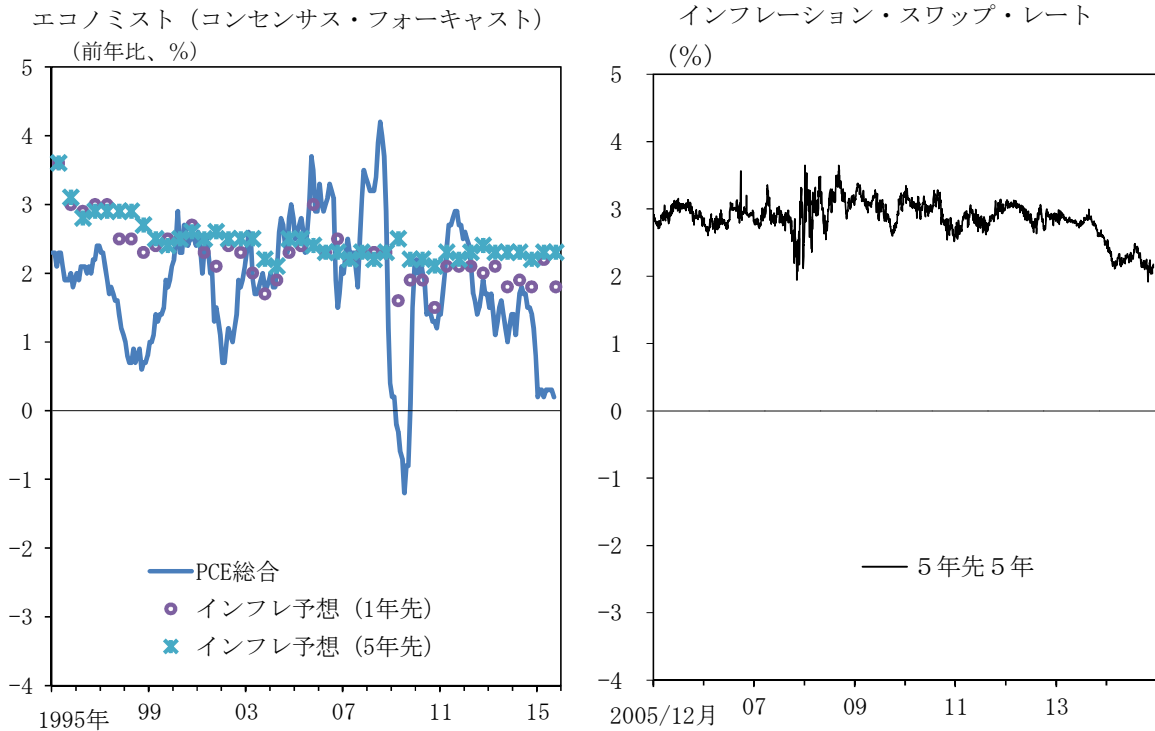
(図表2)

日本と米国：長期予想インフレ率

(1) 日本



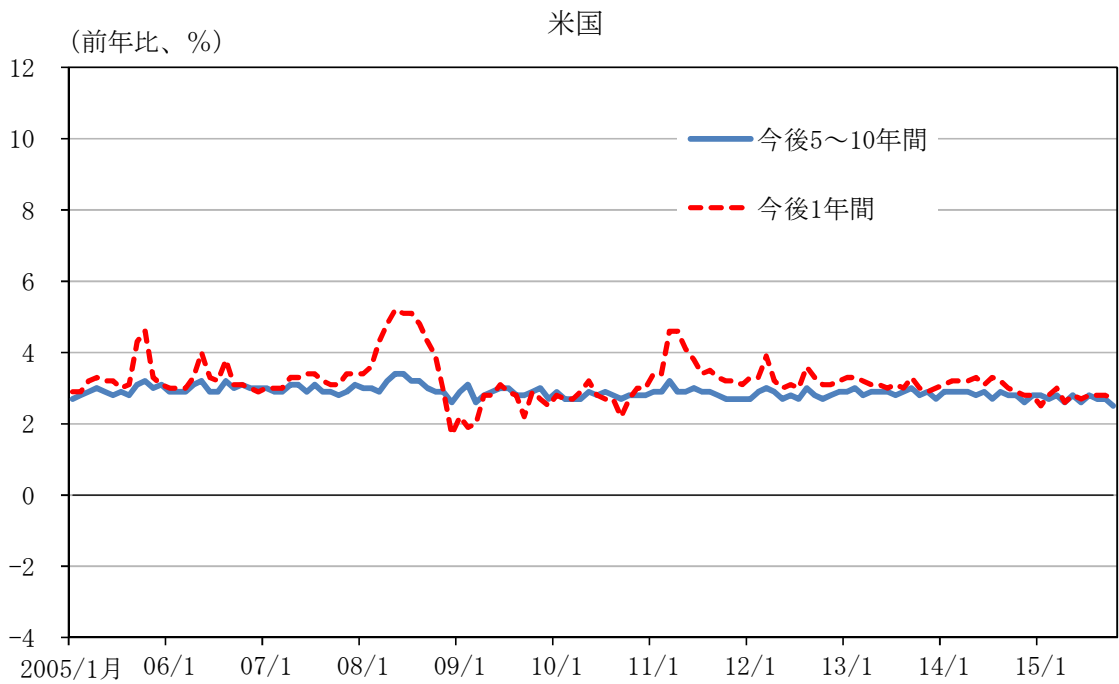
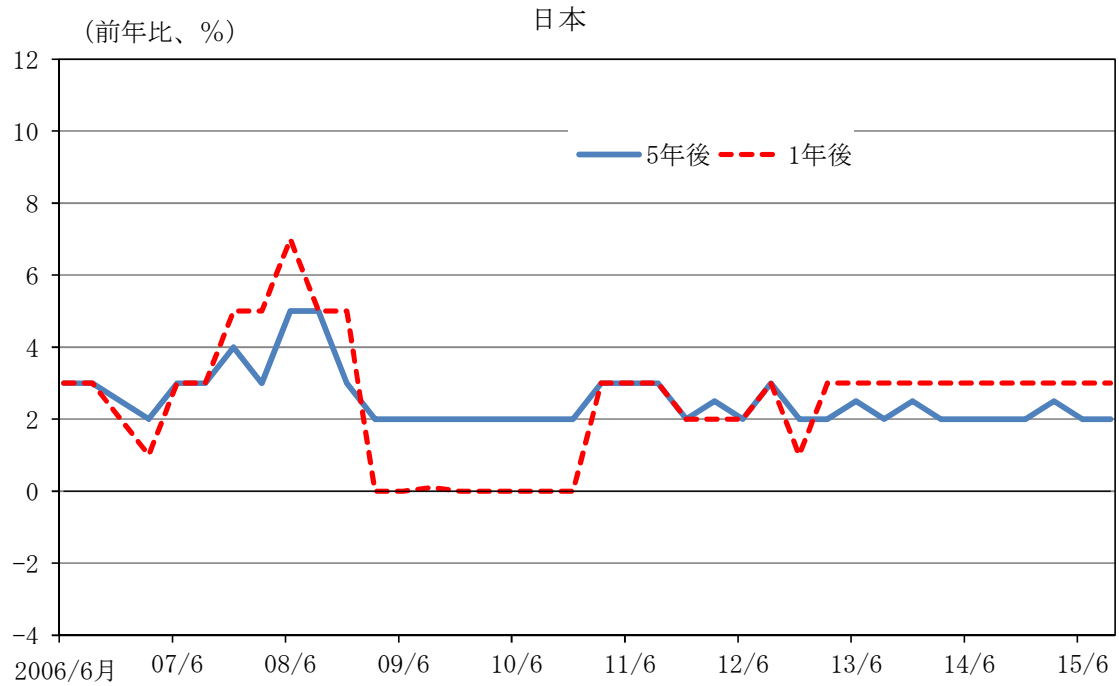
(2) 米国



(出所) Consensus Economics 「コンセンサス・フォーキャスト」、総務省、Bloomberg

(図表3)

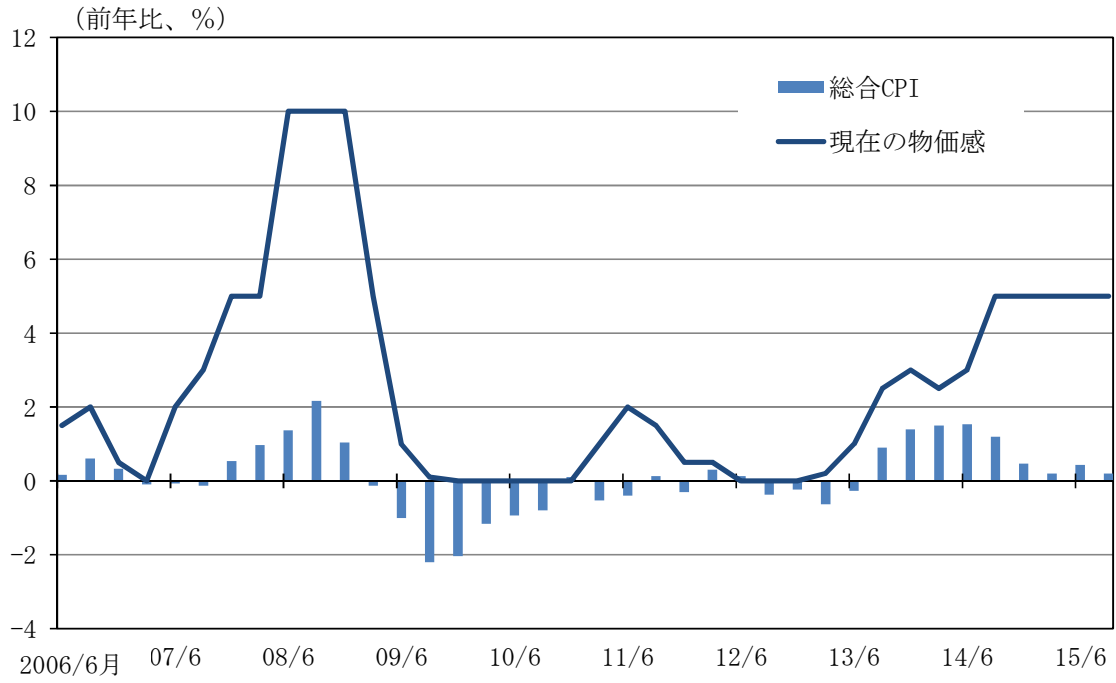
日本と米国：家計の短・長期予想インフレ率（中央値）



(出所) 日本銀行、ミシガン大学「消費者調査」

(図表 4)

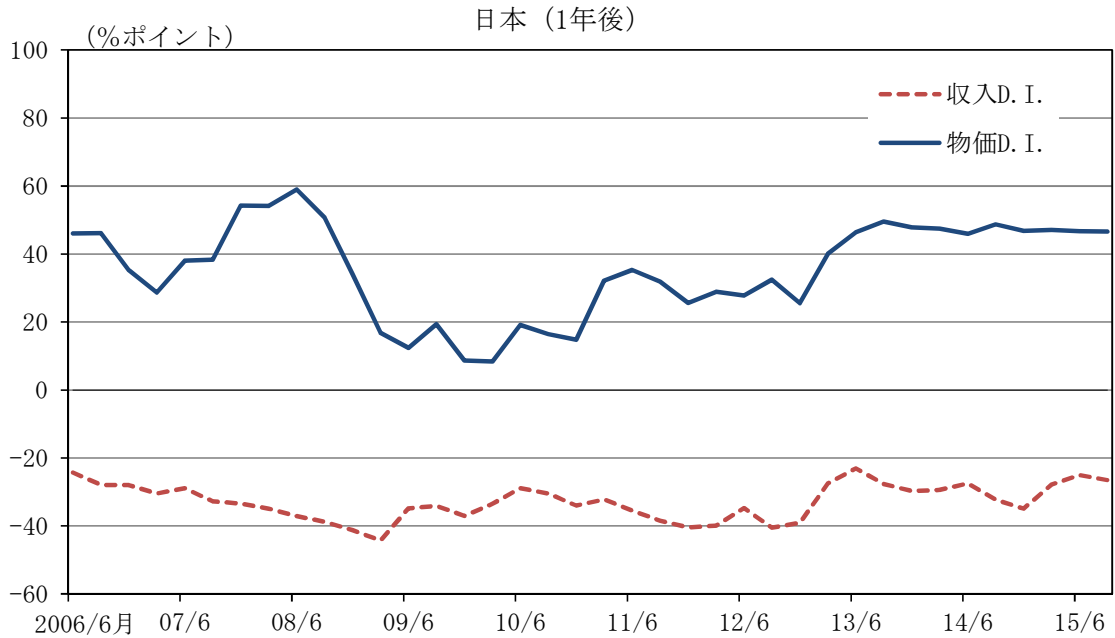
日本：家計による現在の物価感（中央値）



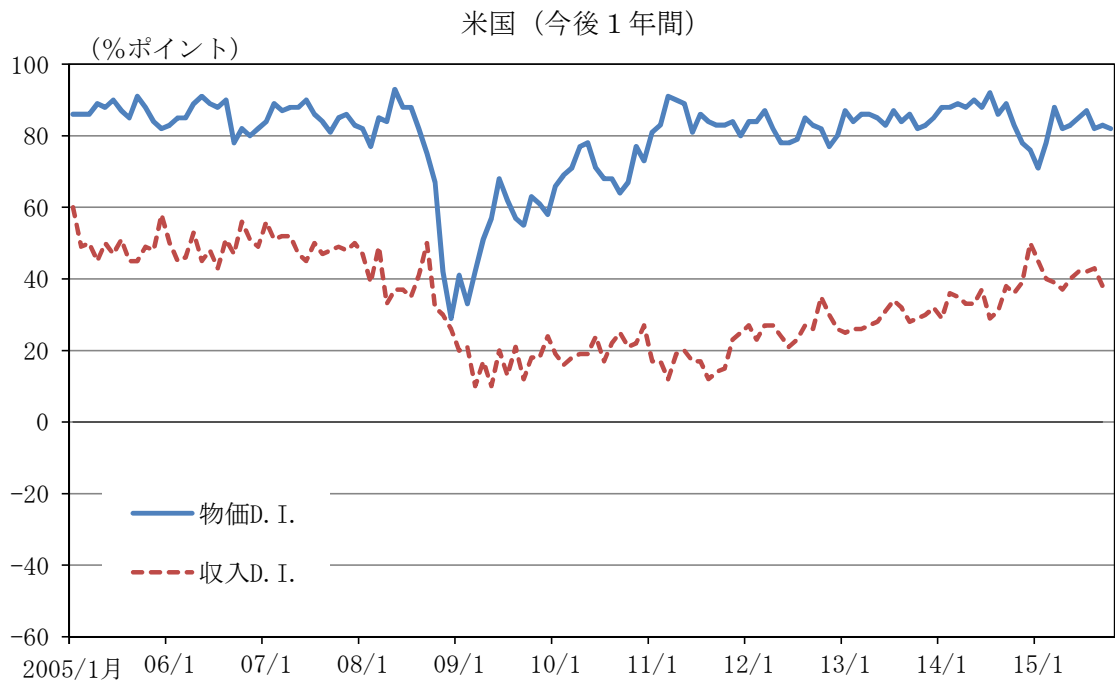
(注) 1. 現在の物価感とは、現在の物価が昨年対比でどの程度変動しているかの実感。
2. 総合CPIは、2014年4月以降は消費税率引き上げによる直接的な影響を除く試算値。
(出所) 総務省、日本銀行

(図表5)

日本と米国：家計の予想収入D. I. と予想物価D. I.



(注) 1. 収入D. I. = 「上昇する」 — 「下落する」。
2. 物価D. I. = 「上昇する」 — 「下落する」。

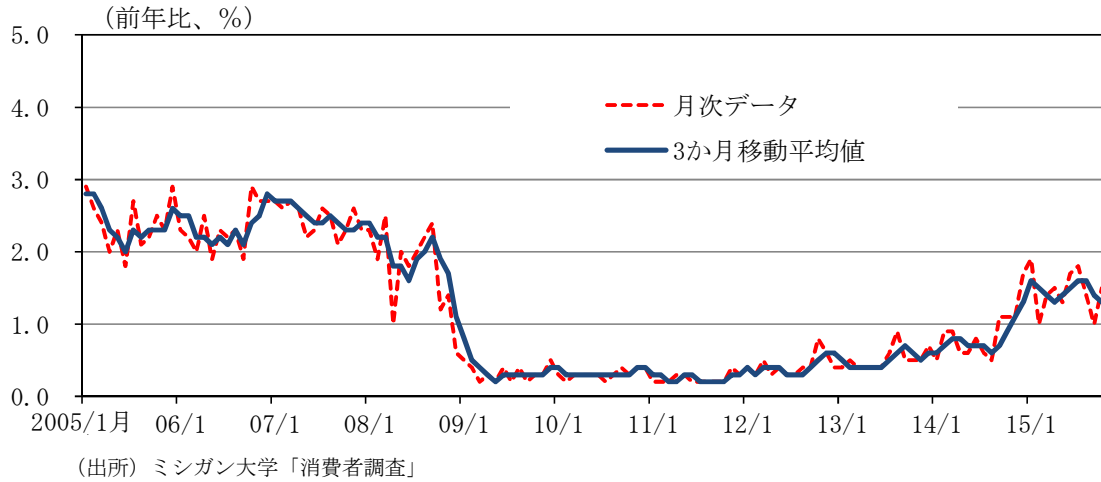


(注) 1. 収入D. I. = 「上昇を期待」 — 「下落を予想」。
2. 物価D. I. = 「上昇する」 — 「下落する」。

(出所) 日本銀行、ミシガン大学「消費者調査」

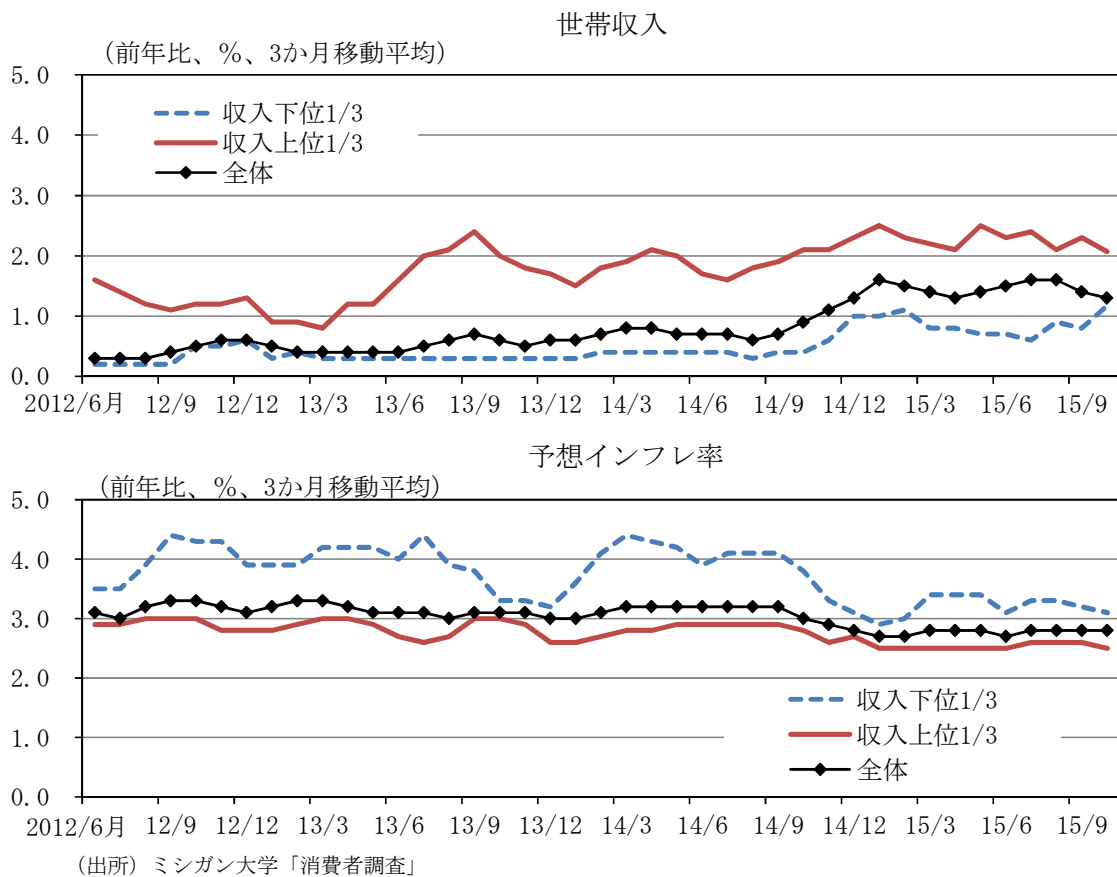
(図表 6)

米国：家計の（世帯）予想収入伸び率（今後 1 年間、中央値）



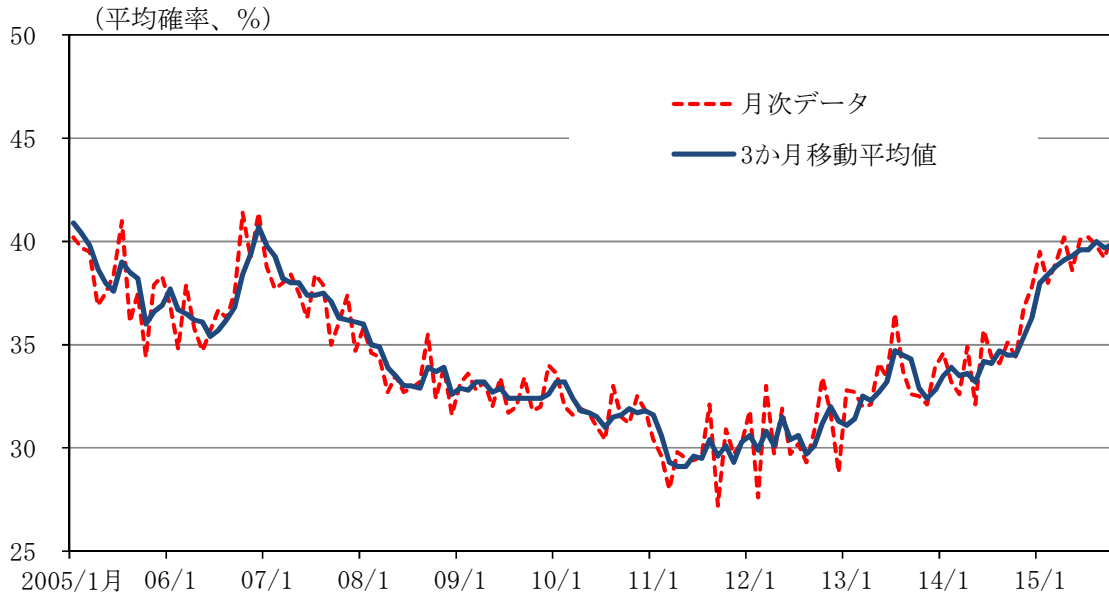
(図表 7)

米国：収入階層別の家計の（世帯）予想収入伸び率と予想インフレ率
（今後 1 年間、中央値）



(図表 8)

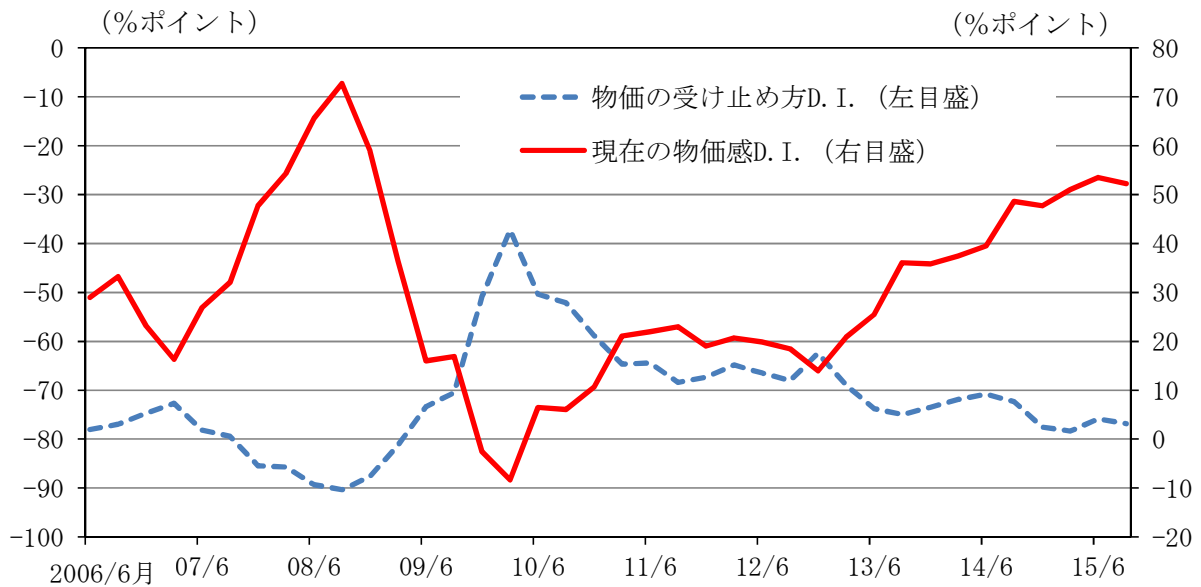
米国：家計による実質収入の上昇確率予想（今後 5 年間）



(出所) ミシガン大学「消費者調査」

(図表 9)

日本：家計の物価の受け止め方 D. I. と現在の物価感 D. I.



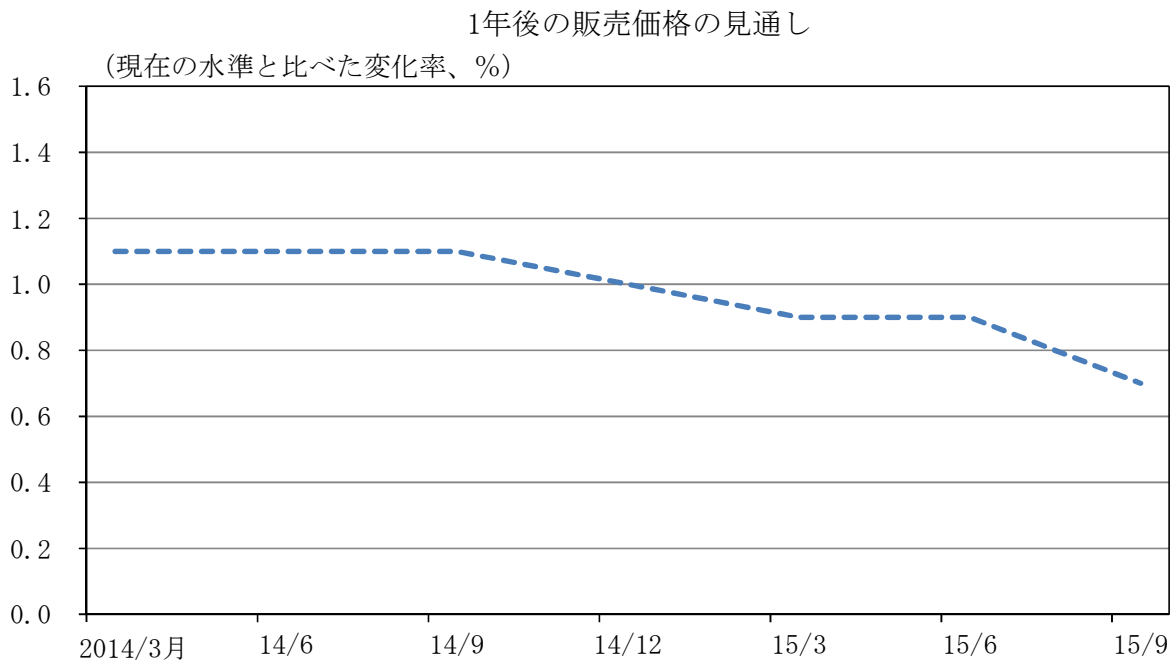
(注1) 物価の受け止め方D. I. = (「上昇が好ましい」および「下落は困ったことだ」回答者比率 - 「上昇は困ったことだ」および「下落が好ましい」回答者比率) ÷ (有効回答者比率 - 「ほとんど変わらない」回答者比率)。

(注2) 現在の物価感D. I. = (「かなり上がった」×1 + 「少し上がった」×0.5) - (「少し下がった」×0.5 + 「かなり下がった」×1)。

(出所) 総務省、日本銀行

(図表10)

日本：企業の販売価格予想



(注) 1. 販売価格見通しD. I. = 「上昇する」 - 「下落する」
2. 消費税率引き上げの影響は除くベースで回答するよう質問事項に明記。
(出所) 日本銀行

(図表 1 1)

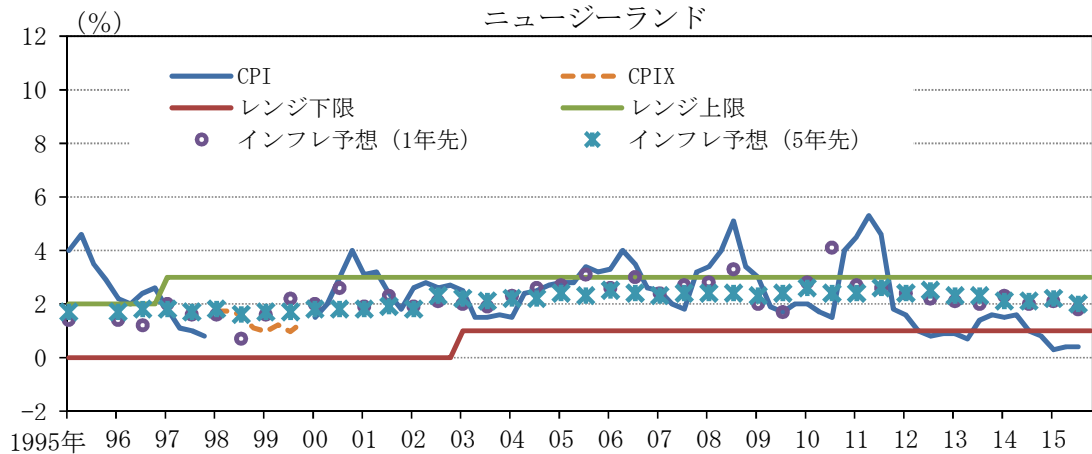
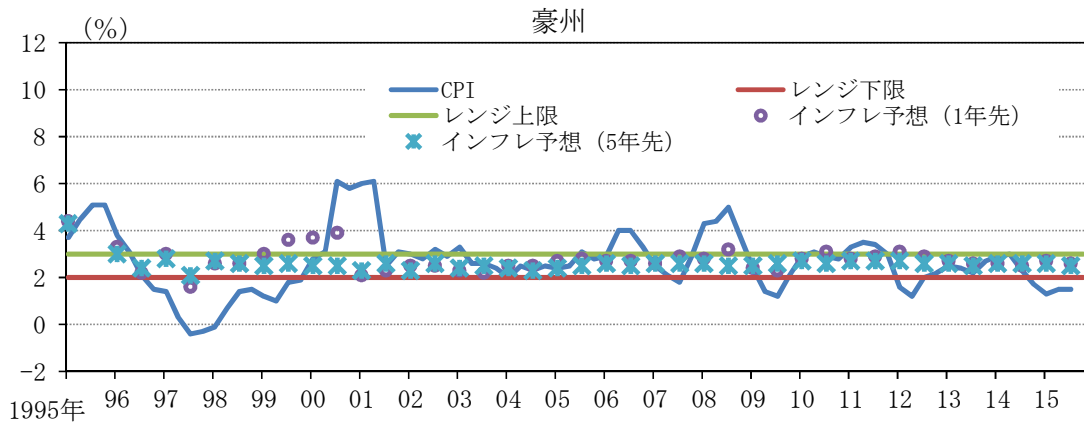
インフレ目標及び定義

	インフレ目標	導入時期	参照指標	数値目標	目標の達成期間	数値目標の可変性
米国	長期ゴール	2012	PCE総合	2%	長期	固定
ユーロ圏	物価安定の定義	1998	HICP総合	2%近辺で2%未満	中期	固定
日本	物価安定目標	2013	CPI総合	2%	中長期	固定
英国	インフレ目標	1992	CPI総合	2%	妥当な期間	固定
豪州	インフレ目標	1993	CPI総合	2-3%	中期	固定
ニュージーランド	インフレ目標	1988	CPI総合	1-3% (中間値2%を重視)	中期	固定
韓国	インフレ目標	1998	CPI総合	2013-15年は2.5-3.5%	予め定めた特定期間	数年毎に見直し
インドネシア	インフレ目標	2000	CPI総合	2012-14年は4.5%±1% 2015年は4%±1%	予め定められた期間	数年毎に見直し
タイ	インフレ目標	2000	CPI総合	2.5%±1.5%	毎年	毎年見直し
フィリピン	インフレ目標	2002	CPI総合	2015-16年は3%±1% 2017-18年は3%±1%	予め定めた特定期間	数年毎に見直し
中国	年次目標	--	CPI総合	2015年は3%前後	毎年	毎年見直し

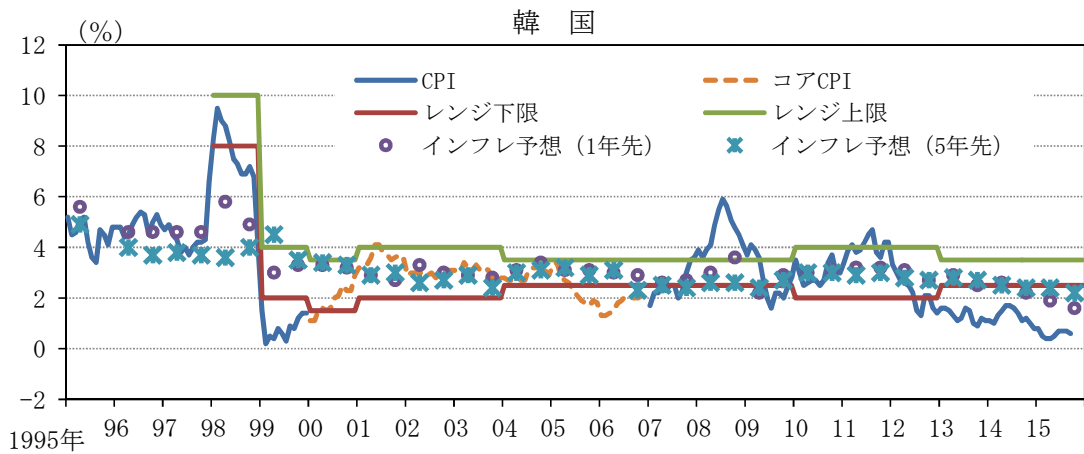
(出所) 各中央銀行

(図表 1 2 - 1)

アジア・太平洋地域：インフレ率と予想インフレ率の推移 (1)



(注) インフレ目標の対象指標は、1998～1999年はCPIX (CPIからクレジットサービスを除く)、その他の期間はCPI。

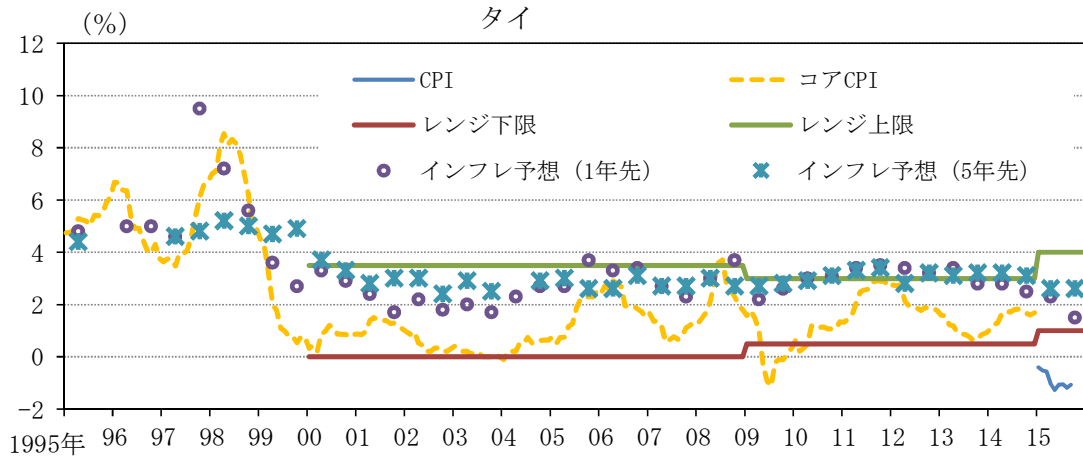


(注) インフレ目標の対象指標は、2000～2006年はコアCPI、その他の期間はCPI。

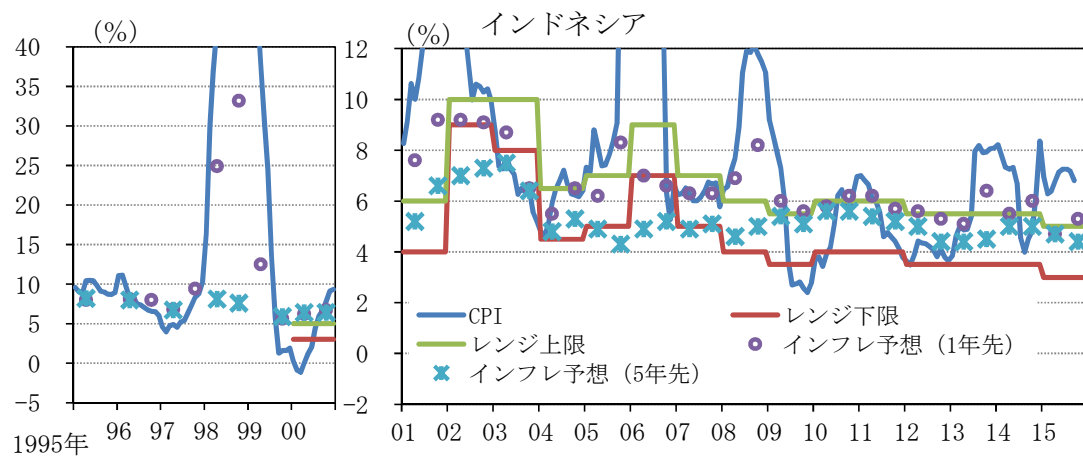
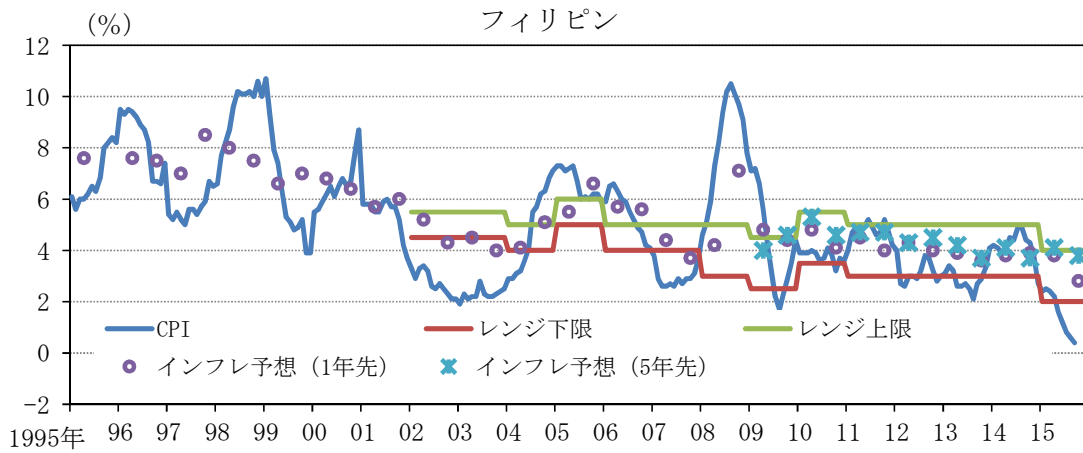
(出所) ブルームバーグ、Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」

(図表12-2)

アジア・太平洋地域：インフレ率と予想インフレ率の推移 (2)



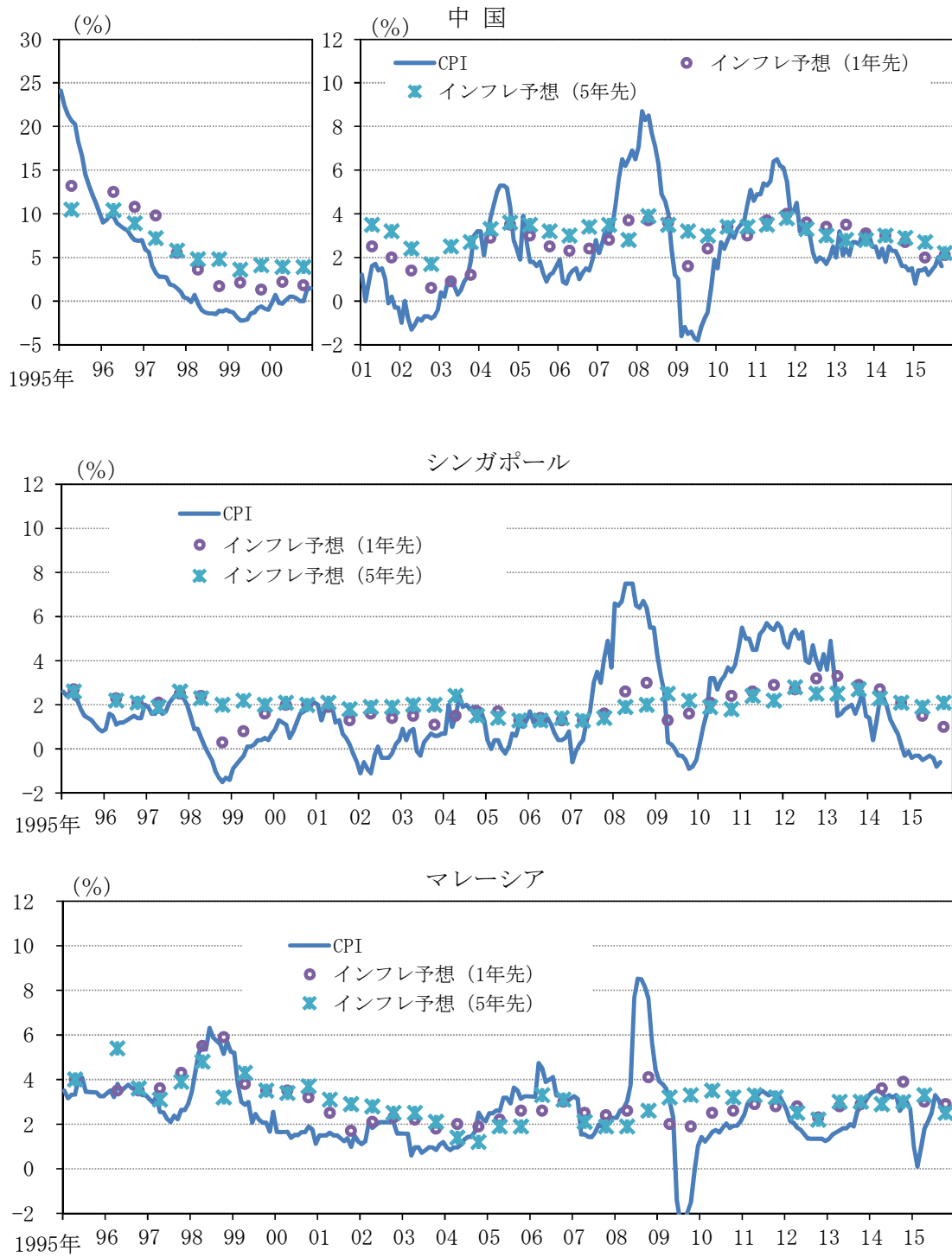
(注) インフレ目標の対象指標は、2000～2014年はコアCPI、その後はCPI。



(出所) ブルームバーグ、Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」

(図表12-3)

アジア・太平洋地域：インフレ率と予想インフレ率の推移 (3)



(出所) ブルームバーグ、Consensus Economics 「コンセンサス・フォーキャスト」